

令和3年度 学 校 経 営 方 針

長崎市立桜馬場中学校 校長 本田勝一郎

1 長崎市教育方針

長崎市の教育は、学校・家庭・地域が一体となって、創造的で豊かな人間性を備えた次代を生きぬく子どもたちの育成をめざすとともに、市民一人ひとりがいきいきと学び、心身ともに豊かな人生を送ることができる社会の実現に努める。

特に本市がめざす「個性輝く世界都市」、「希望あふれる人間都市」と長崎の歴史・文化・自然の特性を踏まえ、平和を希求し、国際性と郷土愛あふれる市民の育成に努める。

2 第3次長崎市教育振興基本計画

基本施策G1 「次代を生きぬく子どもを育みます」

【めざす姿】『子どもが将来の夢や希望を自らの言葉で語り、実現に向けて努力している』

3 学校教育目標

国際社会に生きるよき日本人

4 本校が求める 「資質・能力」……

(よき日本人としての) **背 骨** となる力

5 資質・能力を育てるための手立て

他者と対話し、
仲間と『協働』する

言動に責任を持ち、
社会に『貢献』する

長崎のよさを知り、
自ら『発信』する

6 めざす姿

生 徒 像

- ・自ら考え、自ら学ぶ
- ・心豊かで思いやりのある
- ・進んで公共に尽くす
- ・心身ともにたくましい

生徒

学校像

- ・静かで
- ・明るく
- ・美しい

学校

教 師 像

- ・子ども一人一人を大切にする
- ・認め、ほめることのできる
- ・常に修養と研鑽に努め、向上心、創造力に富む
- ・生徒・保護者・地域から信頼される

教師

7 基本理念

- 感染症対策で命と健康を守る → いつか来るという備え、差別を生まない意識を。
- いつ・何が起こるか分からない → いかにかできるか、知恵を出し合い、柔軟に対応。
- 一人の生徒を大事にする → 一人の生徒もおろそかにしない
- 「困った子」は「困っている子」→ 「困り感」に寄り添うところから始めたい。
- 「知らない・できない」は当然 → 「わからない」と言える集団づくりを。
「わかった」と言える授業づくり。
- 生徒にとってかけがえのないこの「ふるさと」で働かせてもらえる感謝と敬意を。
→ 保護者・地域は大切に。信頼関係が全てに影響。

8 今年度の課題

- (1) 命・健康 → 健康の意識を高め、生き抜く知恵と力を身につけさせる。
- (2) 学力向上 → わかりやすい授業・新指導要領への対応・家庭学習の定着
- (3) G I G A → フロンティア校として実践。総合については全面的に見直す。
- (4) 生徒指導 → 積極的な生徒指導。(寄り添い、認め、ほめる)
- (5) 特別支援 → 必要な生徒に必要な支援を。(知障、情障、病弱、通級、通常)
- (6) 不登校 → 柔軟で多様な対応をすることで、不登校生徒の登校につなげる。
- (7) 生徒会 → 専門部活動等、自治的活動を通して、リーダーと集団を育てる。
- (8) 道徳 → 教科書を利用した授業づくりの充実に向け、指導書を有効活用する。
- (9) 働き方改革 → 働き方について改善できる点を検討しながら、積極的に推進する。
- (10) PTA・地域 → P T Aや地域との連携を推進し、信頼される学校づくりを目指す。

9 重点努力目標

- (1) 「**しっかり鍛える**」……どんどんチャレンジ！失敗を恐れない！縦割り推進！
- (2) 「**たくましい心身**」……よく食べ、よく寝る。体を動かし、よく学ぶ。

10 不祥事根絶に向けた取組

- ① 飲酒・酒気帯び運転の撲滅 ② 体罰の根絶 ③ 個人情報の漏えい防止
- ④ セクハラ・パワハラ防止 ⑤ 新聞記事等の事例に学ぶ研修